

「旭川工業高等専門学校数理・データサイエンス・AI教育プログラム」に係る自己点検・評価

点検評価改善委員会 R2.3.26

評価項目	自己評価案	審議結果	コメント
<p>本校のプログラム「旭川工業高等専門学校数理・データサイエンス・AI教育プログラム」の履修・修得状況は良好であるか？また、問題がある場合、どのような対策を考えているのか？</p>	<p>履修者の状況は逐次、クラス担任や所属学科の教員において情報共有してきた。また、定期的に教務委員会にて履修・単位取得の状況を取りまとめ、状況を把握に努めており、履修上、支障がある学生への配慮も行ってきた。さらに、ICTを積極的に活用し、Google社Classroom等を活用し、学習状況の把握に遅延が生じないように工夫した。現状では、本プログラム履修率は約50%程度に留まっている。これを改善するため、新カリキュラムの展開開始にあわせ、令和3年度の新入学生を対象に本プログラムの対象科目も見直す。これにより、新カリキュラムの展開が進むにつれて、今後、履修率が向上する予定である。</p>	承認	<p>各授業担当者及び学内教務委員会にて履修・単位取得の状況が把握されGoogle ClassroomやTeams等を活用し課題提出状況が取りまとめられている。また、履修者の出席状況は学内の学生情報システムにて管理・共有されている。従って、現状では学修成果の取りまとめ及び管理は適切に実施されており、今後も引き続きこの状況を継続してほしい。</p>
<p>教育プログラム履修学生の学修成果は十分な成果をあげているのか？ また、問題がある場合、どのような対策を考えているのか？</p>	<p>各授業担当者および学内教務委員会にて履修・単位取得の状況は把握されている。また、別添のその他補足資料に添付したような授業評価アンケートを実施している。本アンケートを確認する範囲では、受講した学生の理解度などは高く、学習成果があるように伺うことができる。さらに、履修者の総合成績評価は学内の学生総合情報システムにて管理され、クラス担任や所属学科の教員に情報共有している。その一方で、各学科とも成績不振学生が一定の割合でいることを把握している。そのため、ピアサポート制度を開始し、学生同士で教え合う仕組みの展開を令和2年度から開始したところである。このような取組から学生の学習成果の向上を図る。</p>	承認	
<p>教育プログラムを履修した学生の学習内容の理解度は十分なものであるのか？</p>	<p>本プログラム履修学生に対して、授業評価アンケートを実施し、学内の教務委員において結果の集約・分析を行っている。また、アンケート集約結果は授業担当教員とも共有し、学生からのアンケート結果に対する担当教員からのコメントを集約し、それらを取りまとめ、教職員および学生に対して公開している。さらに、アンケートは継続的に実施する予定である。これらを通して、教職員のみならず、学生も自分たちで授業への理解度等を客観的に見渡すことができる仕組みを構築する。また、令和3年度からは「ITパスポート試験」等の外部団体が実施する試験を活用し、学生の理解度を客観的に測る取組を開始する予定である。</p>	承認	<p>学生の内容の理解度は適切に把握されていると判断できるが、今後、アンケートの結果を踏まえた次年度以降の授業改善のためのフィードバック及びその検証の手法について、さらに検討を進める必要があるものと考えられる。</p>
<p>教育プログラムを履修した学生の教育プログラムへの満足度はどのようなものか？また、他の学生への推奨度は高いのか？</p>	<p>学生による授業評価アンケートは従前より実施し、年度ごとに取りまとめアンケート結果を公表している。現在は、これを活用している。これから本プログラムを履修する学生においても、この情報を利用することは可能であり、また本プログラム履修の参考になりうるものとなる。 本プログラムは開始されたばかりで実際の学生からの推奨度等の調査は、今後、継続的に実施する予定である。今後は、学生向けの本プログラムについての説明会の機会を増やし、履修に関して参考となる情報をさらに整備していく計画である。</p>	承認	
<p>教育プログラムの全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画は検討しているのか？</p>	<p>令和3年度入学生から新カリキュラムの適用に伴い、全学生が本プログラムを必修科目として受講する予定である。令和2年度在籍の学生においては、本プログラムにおける履修対象科目の一部は一般選択科目となっている。これに対して、令和3年度以降に本校に入学する学生に対しては、本プログラムにおける履修対象科目を全て必修科目で構成している。そのため、在籍する全学科の学生が本プログラムを履修することとなる予定である。これに伴い、履修率が令和7年度には100%となる予定である。</p>	承認	<p>新カリキュラムにおける3年生の必修科目は、全学生が本プログラムを履修する予定を、確実に進めてほしい。</p>